

ピンボード

<このような子に>

- 文字を書く時にマスや行からはみ出す。
- うまく描けない図形がある。



- はさみで切る、ボタンをはめる、ひもを結ぶといった、手を使った作業が苦手で、不器用。

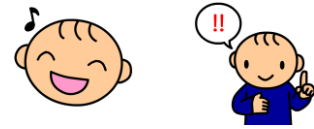


- 読んだり、書いたり、工作したりといった作業に集中できない。



<ねらい>

- 図形に関する基礎的な操作能力、知識、感覚を楽しく遊びながら高めることができる。



- 輪ゴムを伸ばしたり押さえたりしながら形を作ることで、手の使い方が上手になる。



- 段階的に課題を難しくしていくことで、少しずつ集中できる時間を延ばしていく。

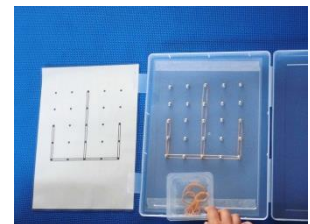


<使い方> ◎輪ゴムを伸ばしたり押さえたりしながら形をつくる

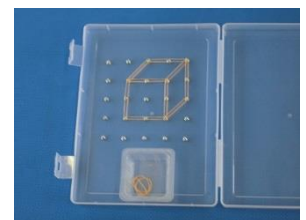
- レベル1** お手本シートをクリアファイルに差し込んでその上から形をつくる。



- レベル2** お手本シートを横において、それをみながら形をつくる。



- レベル3** お手本シートを使わずにオリジナルの形をつくる。



お手本シートは、八幡特別支援学校ホームページからダウンロードできます。児童生徒の実態に合わせてご活用ください。かたち、文字、数字等のパターンがあります。

<作り方>

《材料》

- A4ワイドケース1個
- クリアファイル1枚
- お手本シート1枚
- ボルト、ナット各25個
- 輪ゴム 大10本 小10本
- 両面テープ（各自で）

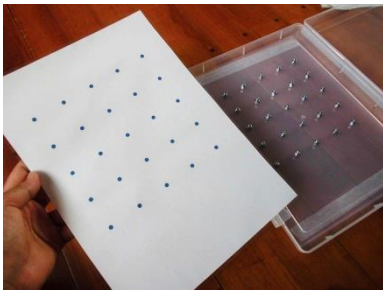
- ① A4ワイドケースに25個の穴をあけ、ケースの外側からボルトを通して内側からナットで留めます。



<ポイント>
カチッと音が鳴るまで
グッと押し込む



- ② ケースの外側に両面テープでクリアファイルを貼る。その際、クリアファイルにお手本シートを挟んでボルトの位置と合うように貼ってください。



これでピンボードは完成です



輪ゴムは、空きスペースに合う容器に入れておくと使用しやすくなります。

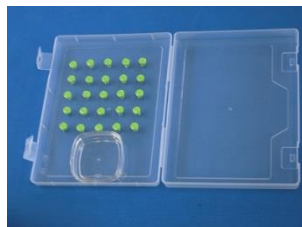


児童生徒の実態に合わせて、色のついた輪ゴムを用いてもいいですね。



その他の使い方

ビーズ挿し …ボルトにビーズを挿す→手指の細かな動きや、点を意識する力を育てます。



迷路遊び

…ボルトに輪ゴムを通して道を作り、両手でボードを傾けてビー玉を転がす→ビー玉を追視する力や、両手の動きをコントロールする力につながります。

